

新刊紹介

- 一般書 ○児童書



- 魔法のねこ背ストレッチ/佐藤 義人(著)/マガジンハウス
- うめももさくら/石田 香織(著)/朝日新聞出版
- 免疫力をあげる最強の食事術/白澤 卓二(監修)/宝島社



- 兄の名は、ジェシカ/ジョン・ボイン(著)/原田 勝(訳)/あすなろ書房
- 10代のための資格・検定/大泉書店編集部(編)/大泉書店
- まちがいなく名探偵/杉山 亮(作)/偕成社

第66回青少年読書感想文全国コンクール課題図書紹介

- 小学校低学年の部
- 山のちょうじょうの木のてっぺん(最上一平(作))
 - おれ、よびだしになる(中川 ひろたか(文)、石川 えりこ(絵))
 - タヌキのきょうしつ(山下 明生(作))
- 小学校中学年の部
- 青いあいつがやってきた!? (松井 ラフ(作))
 - ねこと王さま(ニック・シャラット(作・絵)、市田 泉(訳))
 - ポリぶくろ、1まい、すてた(ミランダ・ポール(文)、エリザベス・ズノン(絵)、藤田 千枝(訳))
- 小学校高学年の部
- ヒロシマ 消えたかぞく(指田 和(著)、鈴木 六郎(写真))
 - 月と珊瑚(上條 さなえ(著))
 - 飛ぶための百歩(ジュゼッペ・フェスタ(作)、杉本 あり(訳))
- 中学校の部
- 天使にもつ(いとう みく(著))
 - 11番目の取引(アリッサ・ホリングスワース(作)、もりうち すみこ(訳))
- 高等学校の部
- 廉太郎ノオト(谷津 矢車(著))
 - フラミンゴボーイ(マイケル・モパーゴ(作)、杉田 七重(訳))

図書館の大規模改修に伴う移転について

図書館の大規模改修工事に伴い、2月28日(日)までの期間は、南薩地域地場産業振興センター2階で運営しています。



市立図書館 72-9254

ホームページ <https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/>

★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 8月10日~9月9日

日	月	火	水	木	金	土	
	8月	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31	9月	1	2	3	4	5
6	7	8	9				

- 休館日
- おはなしのへや 午後3時~ (絵本と紙芝居の読み聞かせ)



- 活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。
- 今月の担当 久木田さん、西村さん
- 会員募集中 問い合わせは図書館まで。

枕崎の特色ある教育

あいさつの明るい声と笑顔があふれる枕崎市に!!

問合せ 生涯学習課 TEL72-0170

本市では、「青少年育成の日」(第3土曜日)の前日を「市民あいさつ運動の日」と位置付けています。学校では、子供たちが自主的に登校してくる友達を元気なあいさつの声で迎える活動を実施しています。あいさつを交わすことで、学校に笑顔の輪が広がっていきます。また、この運動を盛り上げるために、市内の各小・中・高等学校にあいさつの大切さを呼びかける標語の募集を行いました。1,777点の応募の中から、9名の児童・生徒が最優秀賞に選出されました。受賞者名と作品は以下のとおりです。(敬称略)



最優秀賞受賞作品

- 枕崎小1年 加藤 嶺花
「ぼく・わたし げんきなあいさつ かつおのこ」
- 桜山小2年 塚田 日菜璃
「あいさつに 元気とえがおを プラスしよう」
- 別府小3年 真茅 秀多
「わらっておはよう 元気にさよなら ぼくの一日常やかだ」
- 桜山小4年 池田 桜花
「あいさつが あふれるまちは まくらざき」
- 別府小5年 下山 姫琉
「あいさつで がんばる日本に 咲く笑顔」
- 別府小6年 近森 絃
「『おはよう』で 今日のやる気を スイッチオン」
- 枕崎中1年 鮫島 和華
「つなごうよ あなたの優しさ あいさつで」
- 別府中2年 實島 陽
「あいさつと 笑顔で高める 地域の元気」
- 桜山中3年 白澤 来暉
「マスクでも 必ず届く 『おはよう』と」

最優秀賞等作品を掲載したポスターが、枕崎市市民会館や各地区公民館等に掲示されています。あいさつの声があふれる、明るく住みよい枕崎のまちを目指しましょう。



防災一口メモ

いざという時のために



自らを守る防災⑦(避難行動)

避難とは「難」を「避」けることで、安全な場所にいる人は必ずしも避難所に行く必要はありません。また、安全な場所にある親戚・知人宅に避難することを考えておきましょう。市では、気象情報や災害発生の危険性が高まった場合に、防災行政無線等を使って「避難準備・高齢者等避難開始」や「避難勧告」、「避難指示」を発令します。これらの情報が発令されていなくても、命を守るために身の危険が迫る前に、自らの判断でより安全な避難行動をとることが重要です。いざという時のため、安全な避難行動ができるように普段から準備しておきましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL72-1111(内線214)

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ

レジ袋の減量化について



本市では現在、500名以上の方に「枕エコサポーター」に登録してもらい、マイバッグを使ったレジ袋の減量化に取り組んでいただいています。マイバッグで買い物をする方が増えていますが、環境省では事業者・団体を対象に「レジ袋チャレンジ」の趣旨に賛同し、レジ袋削減と一緒に消費者に呼びかける「レジ袋チャレンジサポーター」を募集しています。レジ袋チャレンジサポーターに登録すると、店頭等でPRするための動画や店内放送などの素材が環境省から提供されます。また、手続きの際に各事業者・団体の取り組みをあわせて登録すると、環境省ホームページで紹介されます。詳しくは、環境省ホームページをご覧ください。

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

健康ちゃんねる

健康ちゃんねる

問合せ 健康センター TEL72-7176



あなたの子育て応援します

本市では、妊娠前から子育て期にわたるまでの支援について、ワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)を設置しています。医療機関や保育園・幼稚園等、子育てに関連する機関と連携し、切れ目のない支援を実施します。またワンストップ拠点には、保育士、保健師、助産師、看護師等を配置して、きめ細やかな支援を行い、安心して子育てできる地域づくりを行います。

子育てについて周りに相談できる人がいない、子どもの育てにくさを感じる、育児サークルに参加してみたいなど、子育てについての相談窓口となっています。

特に産後まもないお母さんは、ゆっくりと休息がでず、慣れない育児に奮闘し、つい頑張りが過ぎてしまうことがあるかもしれません。体が心が疲れたときは、頑張りすぎず、周囲に相談し、サポートを受けましょう。

サポートを上手に受けるためには、次のような方法があります。

- パートナーと協力する: ゴミだしや、買い物、洗濯、オムツ替えなど、パートナーができることから頼み、協力していきましょう。
- 産後ケアを利用する: 産婦人科にて、お母さんが体を休めたり、乳房のケアや心身の不調があるときにケアを受けることができます。
- 森産婦人科・鹿児島市のマミクリニック伊集院にて利用できます(詳細は、健康センターへお問い合わせください)。
- お母さんの心と体の調子が良くなり、育児が楽しく充実したものとなるよう、お手伝いできたらと思います。お母さんの笑顔が、お子さんや家族の安心につながります。一人で悩まずに、枕崎市子育て世代包括支援センター(枕崎市健康センター)へ、ぜひご相談ください。

○枕崎市子育て世代包括支援センター(枕崎市健康センター) 相談専用回線 72-7176

4 または 72-7176